

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/20 （3/13との比較）	3/20 （3/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	0.87% （+0.02）	77.10円 （▲1.36%）	+1.5% 2019年4Q	0.75%	発表されたCPI（消費者物価指数）および小売売上高は市場予想を上回る内容。原油価格の大幅下落に加え、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらないこともあり、カナダドルは対円で下落。国債利回りは小幅上昇。	景況感指数や卸売売上高などが発表予定。新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動停滞への懸念が強まる中、主要国の政策対応が進むとみられ、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気安定	 利下げ局面		
ブラジル 	BB-	7.29% （+1.40）	21.88円 （▲1.58%）	+1.7% 2019年4Q	3.75%	発表されたインフレ率は市場予想を上回った一方、産業信頼感は前回比で悪化を示す内容。中銀は政策金利を0.50%引き下げ、過去最低の3.75%とすることを決定。レアルは対円で下落。国債利回りは上昇。	消費者信頼感や小売売上高などが発表予定。レアル安の長期化や原油価格下落の経済への悪影響が懸念され、追加緩和に追い込まれる展開も想定される中、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Ba2	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気安定	 利下げ局面		
メキシコ 	A-	6.95% （▲0.38）	4.54円 （▲7.73%）	-0.5% 2019年4Q	6.50%	特に注目すべき経済指標の発表はなし。中銀は20日、翌週予定されていた定例会合を前倒しで開催し、6会合連続となる0.50%の緊急利下げを実施。メキシコペソは対円で下落、国債利回りは低下。	小売売上高や失業率、貿易収支などが発表予定。中銀が目標としているインフレ率を3%台で維持できていることから、更なる利下げを実施することも可能な状況下、メキシコペソの下落および金利の低下基調を予想。
	A3	 金利低下	 為替横ばい	 景気安定	 利下げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/20 （3/13との比較）	3/20 （3/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.14% （+0.16）	64.25円 （▲3.65%）	+2.2% 2019年4Q	0.25%	発表された住宅価格指数は市場予想を下回る内容。中銀が政策金利を過去最低の0.25%に引き下げると同時に、実質的な量的緩和策の導入も決定する中、豪ドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	製造業PMI（購買担当者景気指数）などが発表予定。政策金利の引き下げ余地が低下し、今後の追加緩和策は量的緩和の拡大が中心となるとの見方が台頭する中、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ニュージーランド 	AA+	1.47% （+0.26）	63.26円 （▲2.95%）	+1.8% 2019年4Q	0.25%	発表された経常収支は市場予想を上回ったほか、GDP（国内総生産）は市場予想を上回る内容。中銀は週初に0.75%の利下げを実施。更なる施策への意欲も示す中、ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	貿易収支や消費者信頼感指数などが発表予定。中銀が週初に量的緩和政策を開始すると発表するなど、他の中銀と同様に継続的な政策対応が予想される中、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.02% （+0.02）	9.41円 （▲11.72%）	+1.8% 2019年4Q	0.25%	発表された貿易収支は前月比で悪化する内容。中銀は前週の0.50%利下げに続き、0.75%の利下げを実施。原油価格の大幅下落もあり、ノルウェークローネは対円で大幅に下落。国債利回りは小幅上昇。	失業率や小売売上高などが発表予定。原油価格の動向に加え、新型肺炎の国内外経済への影響度合いから目が離せない状況が続く中、債券・為替市場ともに一進一退の展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利下げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		3/20 （3/13との比較）	3/20 （3/13との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.49% （+0.95）	6.30円 （▲5.47%）	-0.5% 2019年4Q	5.25%	発表されたCPI（消費者物価指数）は市場予想を上回ったほか、小売売上高も前年比で市場予想を上回る伸びとなる内容。中銀が1.00%の利下げを実施する中、ランドは対円で下落。国債利回りは上昇。	PPI（卸売物価指数）などが発表予定。引き続き、新型肺炎の感染拡大と各国政府・中銀の政策対応、原油価格の動向などから目が離せない中、ランドは振幅の大きい展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB	7.24% （+0.50）	0.69円 （▲5.34%）	+5.0% 2019年4Q	4.50%	発表された貿易収支は原油関連を中心に輸入が鈍化した結果、貿易黒字となる内容。中銀は0.25%の利下げを実施し、各国政府との政策協調姿勢も強調。インドネシアルピアは対円で下落。国債利回りは上昇。	特に注目すべき経済指標の発表はなし。新型肺炎の感染拡大による経済活動停滞への懸念が強まる一方、各国政府・中銀の政策対応期待もあり、債券・為替市場はともに一進一退の展開が続くと予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.34% （+0.04）	1.46円 （+1.95%）	+4.7% 2019年4Q	5.15%	発表されたPPIは市場予想を下回る内容。新型肺炎対策のため、22日を外出禁止とすると発表。継続的な実施となるか注目が集まる中、インドルピーは対円で上昇。国債利回りは上昇。	特に注目すべき経済指標の発表はなし。新型肺炎の感染拡大による経済活動停滞への懸念が高まる一方、政策対応に期待する見方もある中、債券・為替市場はともに一進一退の展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 利下げ局面		

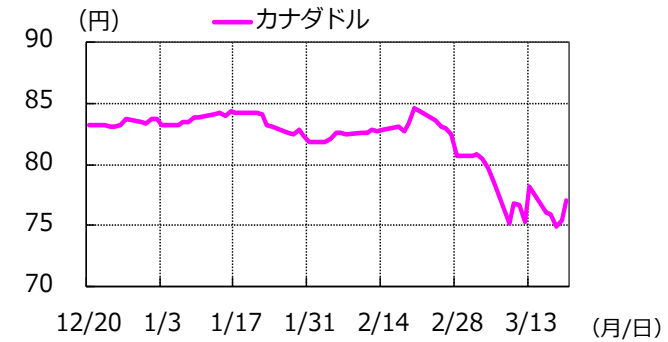
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

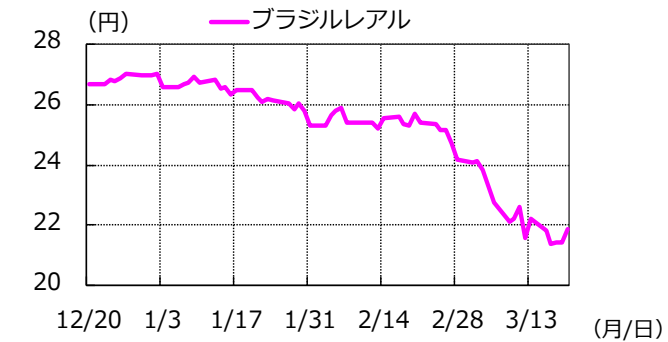
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/12/20~2020/3/20

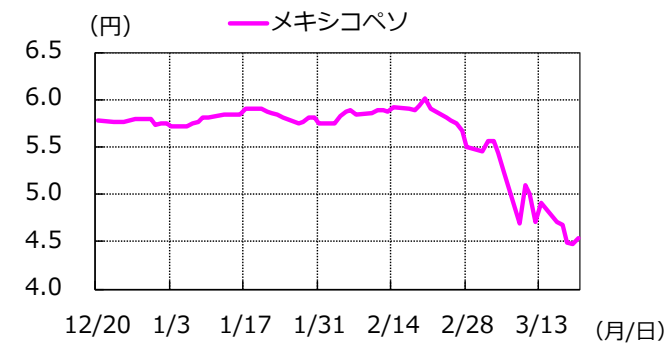
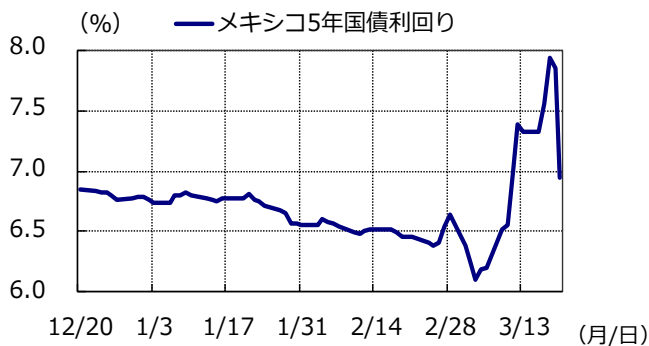
カナダ



ブラジル



メキシコ

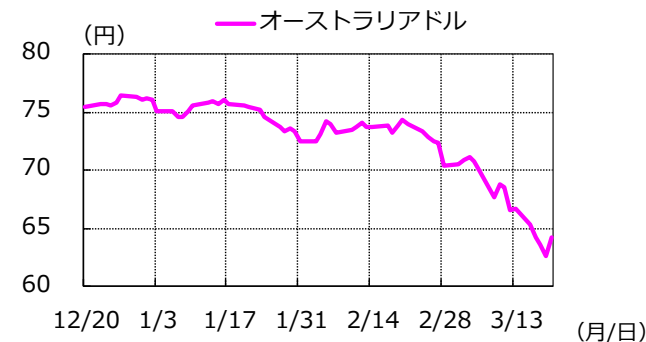


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

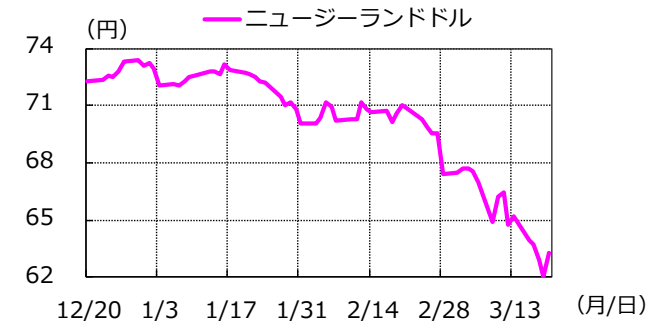
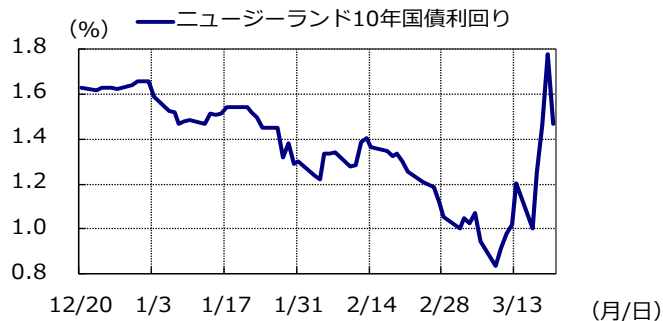
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/12/20~2020/3/20

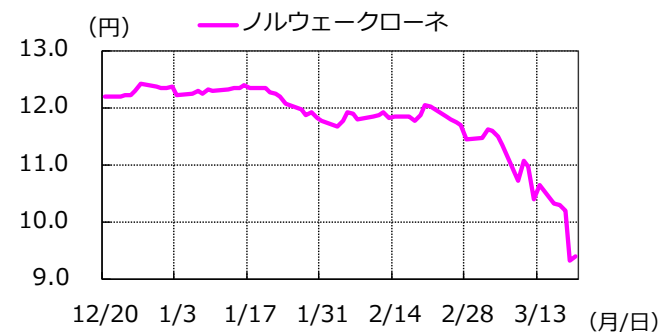
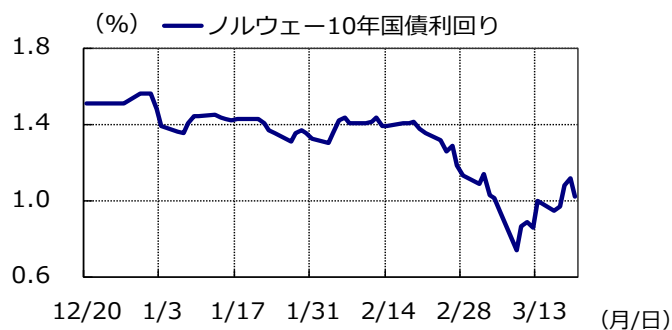
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

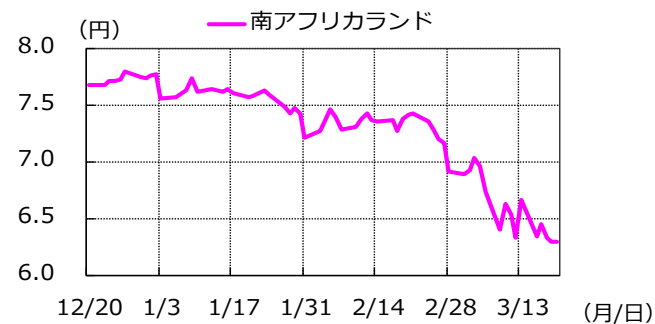


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

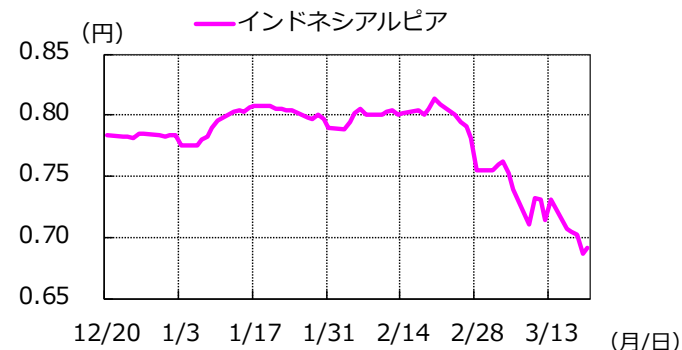
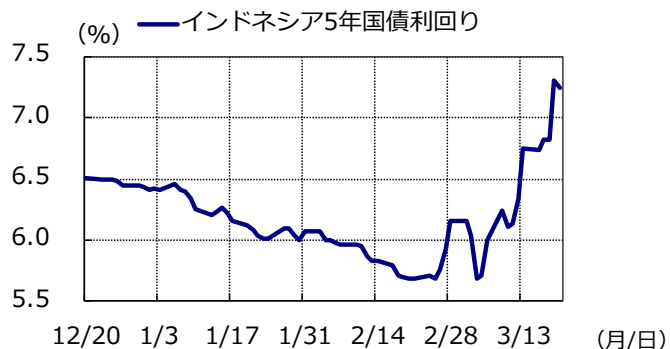
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/12/20~2020/3/20

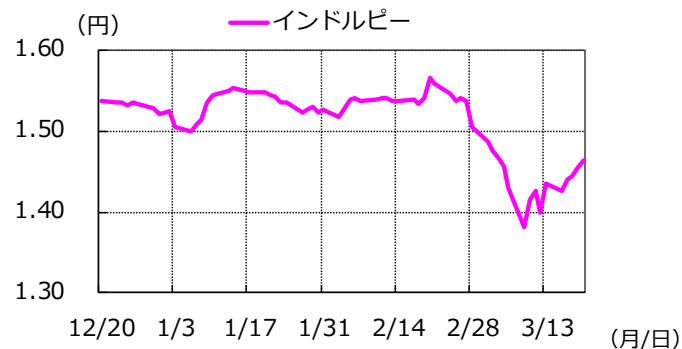
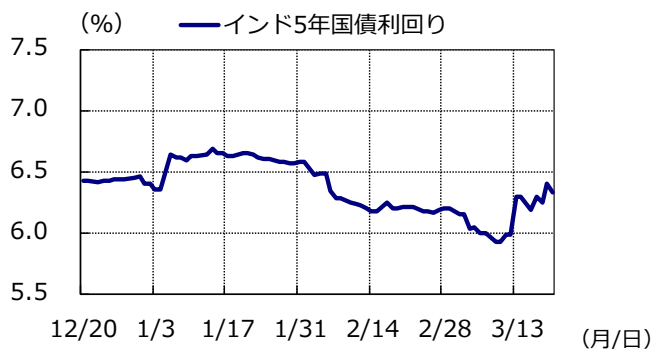
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。